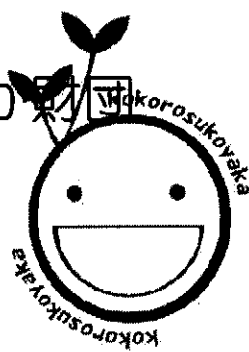


平成 25 年度

事業報告書

公益財団法人こころすこやか財団



～目 次～

公益財団法人 ころすこやか財団の運営

- (1) 理事会・評議員会

公益事業 1：障害者の自立の支援に関する事業

- (1) 障害者の相談支援・活動支援
◆ 地域生活支援センター青明舎
- (2) 障害者の就業・生活支援
◆ 障害者就業・生活支援センターみさわ
- (3) 障害福祉サービス
◆ ころすこやか財団グループホーム
◆ ケアホーム 青風荘
◆ 障害者生活訓練施設 青山荘
◆ 障害者就労移行支援事業
- (4) 障害者の作品展示

公益事業 2：高齢者の生活・相談支援事業

- (1) 在宅介護支援センターの運営
◆ 在宅介護支援センターたえみ（多笑）
- (2) 若年性認知症者の支援
◆ 若年性認知症サポートセンターゆえみ（結笑）
- (3) 認知症対策・地域支援
◆ もの忘れ検診機器の貸出
◆ 認知症事例検討会
◆ 若年性認知症サロンゆうき（結喜）
◆ 介護予防
◆ 認知症徘徊 SOS 模擬訓練
- (4) サービス付き高齢者向け住宅の管理・サービス提供

**公益事業 3：障害者・高齢者が安心して暮らせる
地域づくり事業**

- (1) 障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催
- (2) 法人後見の実施ならびに市民後見人の活動支援
- (3) 精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

収益事業 1

- (1) コインランドリー・自動販売機等の設置事業

理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

①理事会の開催

定期的に理事会を6回開催した

	開催日	議案
第1回理事会	5月18日	平成24年度事業報告について承認を受ける件 平成24年度決算報告について承認を受ける件 役員及び評議員の報酬等に関する規程の変更について承認を受ける件
第2回理事会	6月22日	理事辞任及び評議員辞任による補選候補者の推薦、選考について
第3回理事会	6月22日	代表理事の選定
第4回理事会	7月20日	八戸市地域密着型サービス設置事業「認知症対応型通所介護事業」公募による、事業申込について承認を受ける件
第5回理事会	10月26日	給与規程の一部改正について
第6回理事会	3月1日	平成26年度事業計画案について承認を受ける件 平成26年度収支予算案について承認を受ける件 平成26年度資金調達及び設備投資の見込み書類について承認を受ける件 公益目的事業又は収益事業等の内容の変更認定申請について承認を受ける件 給与規程の変更について承認を受ける件

②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を4回開催した

	開催日	議案
定時評議員会	5月18日	平成24年度事業報告について承認を受ける件 平成24年度決算報告について承認を受ける件 役員及び評議員の報酬等に関する規程の変更案について承認を受ける件
第1回臨時評議員会	6月22日	補選評議員の選任 補選理事の選任
第2回臨時評議員会	6月22日	代表理事の報酬について

<p>第3回 臨時評議員会</p>	<p>7月20日</p>	<p>八戸市地域密着型サービス設置事業「認知症対応型通所介護事業」公募による、事業申込について承認を受ける件</p>
<p>第4回 臨時評議員会</p>	<p>3月1日</p>	<p>平成26年度事業計画案について承認を受ける件 平成26年度収支予算案について承認を受ける件 平成26年度資金調達及び設備投資の見込み書類について承認を受ける件 公益目的事業又は収益事業等の内容の変更認定申請について承認を受ける件 給与規程の変更について承認を受ける件</p>

◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 中居則子

【報告概要】

障害者および家族からの来所相談・電話相談・訪問しての相談を行い、生活全般・医療相談・日常の悩み事等へ、必要な情報の提供および助言、解決を講じる支援計画を作成し、相談内容にかかわる機関との連絡調整を行うことで、相談内容の解決を図った。その他、障害者の虐待や障害児・多問題ケースへの相談・直接支援や権利擁護にも取り組んだ。相談受付については、各種障害の特性に応じて、家族、医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談も受け付けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、また地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が、気軽に立ち寄れる環境づくりを行った。これらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援した。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センター I 型事業
- ③特定相談支援事業
- ④指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。

委託市町村には、毎月実績報告を提出した。

月	行動報告	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応	
	支援内容	年間延べ利用件数
	訪問	591 件
	来所相談	6281 件
	同行	83 件
	電話相談	1375 件
	関係機関との連絡調整	1362 件
個別ケア会議	8 件	
12月	相談支援専門員研修参加	

公益事業1：障害者の自立に支援に関する事業
 (1) 障害者の相談支援・活動支援

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）の運営

月	行動報告
8月6日 11月15日 1月15日	八戸市障害者相談支援事業者連絡会議
8月21日 11月19日 1月31日	八戸市地域自立支援協議会担当者会議

4) 住居入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方に、必要な調整等を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整等、地域生活の支援、緊急時の対応・支援

登録者：6名

年間延べ利用件数：56件

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携をとりながら支援する予定であったが、対象者がおらず実施していない。

②地域活動支援センターI型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	7名
5月	エコキッチンガーデン	6名
6月	ショッピングツアー	12名
7月	すこやか祭り（本部）	11名
8月	収穫祭	12名
9月	ぶどう狩り	19名

公益事業1：障害者の自立に支援に関する事業
(1) 障害者の相談支援・活動支援

10月	ボーリング大会	10名
11月	ゲーム大会	7名
12月	もちつき大会(本部)	14名
1月	正月イベント	18名
2月	映画鑑賞会&お茶会	10名
3月	めっちゃうま大会	8名

- 3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動
医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
11月2日	サポーター養成講座実施。参加者5名。
随時	行政、教育機関、一般企業等への出張講義

- 4) ライフサポート
日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応定期訪問者	
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応(オンコール)	
	支援内容	年間延べ利用件数
	入浴	680件
	洗濯	18件
	インターネット	28件
	食事作り	34件
オンコール(夜間電話)	400件	

③特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行う予定であったが、人員が確保できず今年度は事業を実施していない。

④指定一般相談支援事業

1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じる予定であったが、利用者は0名であった。

2) 地域定着支援

居宅において単身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じる予定であったが、利用者は0名であった。

◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適合により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的とした。

【報告項目】

- ① 雇用安定事業
- ② 生活支援等事業

【報告内容】

- ① 雇用安定事業
 - 1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言の他、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、事業者説明、利用者説明、委託訓練の利用、短期職場実習制度の利用

- 2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言及び住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、事業者説明、利用者説明、委託訓練の利用、短期職場実習制度の利用

- 3) 目標件数の達成状況

計上方法としては、雇用安定等事業の実施希望把握時の就業支援の実績のカウント方法に揃えた。

目標件数設定項目	平成25年度 目標値	平成25年度 達成値	達成率
支援対象障害者数(人)	180人	222人	123%
障害者に対する相談・支援件数(件)	2,300件	2,520件	110%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数(件)	21件	20件	95%
就職件数(件)	18件	27件	150%

公益事業1：障害者の自立の支援に関する事業
(2) 障害者の就業・生活支援

4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

各期における実績等の報告を行った。また活動状況等について各関係機関と情報を共有し、連携を図った。

月	行動報告
4月19日	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
5月30日	みさわ連絡会議
5月随時	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
6月随時	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
7月随時	四者面談（第二高等養護学校）
8月22日	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
10月随時	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
11月28日	みさわ連絡会議
11月随時	養護学校生徒、企業実習の巡回協力
12月19日	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
2月20日	障害者就業・生活支援センター連絡協議会会議
3月随時	移行支援会議（七戸、八戸第二養護学校）
適宜	各障害者就業・生活支援センター連絡協議会 会議

② 生活支援等事業

1) 生活上の相談、助言

日常生活又は社会生活に支障があるが、職業生活における自立を図る為に就業や職場実習、基礎訓練等を実施しているものに対して生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する相談、助言を適宜実施した。

2) 家庭、職場、実習先等への訪問巡回

生活上の相談等に應ずるなど就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

3) 基礎訓練の実施施設確保

職業準備訓練の前段階として、支援対象障害者との信頼関係の形成、能力や特性等の把握を目的とした訓練を実施する場として提携施設の確保を行った。

4) 関係機関との連携

事業が円滑かつ効果的に行われるように努め、市町村、公共職業安定所などをはじめとした関係施設と連絡を密にし、地域自立支援協議会、就労支援事業（チーム支援）等において連携体制を構築、切れ目のない一貫とした連携をとった。

月	行動報告
毎月	三沢市障害者支援協議会
毎月	十和田市障害者支援協議会
随時	チーム支援会議

5) 啓発活動

月	行動報告
6月23日	第1回在職者交流会
7月21日	第2回在職者交流会
1月18日	第3回在職者交流会
1月26日	第4回在職者交流会
10月12日	障害者就労シンポジウム in 三沢
9月5日	優良事業所見学会（農園カフェ日々木）
2月19日	優良事業所見学会（十和田済誠会病院）

◆こころすこやか財団グループホーム
(共同生活援助事業)

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
「あおぞら（定員：女性 7 名）」「あおば（定員：男性 5 名）」「あおめ（定員：男性 6 名）」
- 1) 支援計画の作成及び提供
 - 2) 関係機関との情報共有及び連携
 - 3) 生活の質及び健康の維持
 - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
 - 5) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
 - 7) 年間利用者状況

【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
- 1) 支援計画の作成及び提供
利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた生活支援計画を作成し提供するとともに、継続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
4 月	アセスメント
4 月・10 月	生活支援計画の評価・生活支援計画の作成検討会議
4 月・10 月	生活支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携
利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質及び健康維持
生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。

実施月日	実施内容
26 年 1 月 21 日 26 年 3 月 10 日	夜間想定避難訓練 消防通報訓練・職員緊急連絡網による通報訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談 建物管理・設備管理・大掃除支援等

公益事業 1：障害者の自立の支援に関する事業
(3) 障害福祉サービス

4) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

月	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求 会計に関する諸記録の整備

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務、及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月 10 日・25 日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

7) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら(女)定員7			あおば(男)定員5			あおめ(男)定員6		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H25.4月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
5月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
6月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
7月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
8月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
9月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
10月	1	1	5	0	0	5	0	0	5
11月	0	0	5	0	0	5	0	0	5
12月	0	1	4	0	0	5	0	0	5
H26.1月	0	0	4	0	0	5	0	0	5
2月	0	0	4	0	0	5	0	0	5
3月	0	0	4	0	0	5	1	0	6
延利用者数計	1	2	56	0	0	60	1	0	61

◆ケアホーム 青風荘
(共同生活介護事業)

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「指定共同生活介護事業」において、障害程度区分2以上で介護給付サービス支給決定を受けた利用者に対し、食事、服薬、入浴、排泄等の介助及び日常生活上の支援を行い、地域において自立した生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況等に応じて、共同生活住居において適正な支援を提供し、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ① ケアホーム青風荘の運営（定員 20 名）
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
 - 3) 関係機関との情報共有及び連携
 - 4) 健康管理
 - 5) 非常災害対策
 - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 7) 介護給付費請求・受領業務
 - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
 - 9) 余暇活動支援
 - 10) 年間利用者状況

【報告内容】

- ① ケアホーム 青風荘の運営
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
一日を通して（夜間含む）日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回りや家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

日中活動の場等との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～金	通所リハビリテーションスタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

公益事業 1：障害者の自立の支援に関する事業
(3) 障害福祉サービス

2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握し、適切な共同生活介護を提供した。

実施月日	実施内容
H25年 4月	面談・アセスメント作成
H25年 4月・10月	個別支援計画の検討会議・評価 個別支援計画の見直し・同意

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕(毎日)	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病患者対象(1名)～血統検査
H25年 4月	胸部X-P(一般者9名)
H25年 6月・11月	胸部X-P(潜在性結核感染対象者7名)
H25年 7月	頭部CT検査(14名)
H25年 8月	胸部X-P(潜在性結核感染対象者1名)
H25年 11月	心電図(19名)、インフルエンザ予防接種(19名)
H25年 9月・H26年 3月	定期採血(一般セット・全員)
H26年 2月	脳波(15名)

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H25年 8月・H26年 2月	第三者委員会の開催
H26年 2月	避難誘導訓練(夜間想定)
H26年 3月	避難誘導訓練(夜間想定)
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	H26年 4月、25年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	介護給付サービス提供実績記録提出 国保連への請求 会計に関する諸記録の整備

8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

月	行動計画
H25年4月	花見(三戸城山公園)
5月	特別調理会
6月	バスハイク(下田・カワヨ牧場)
7月	バスハイク(岩手・おおのキャンパス)
8月	バスハイク(十和田・美術館)
9月	ぶどう狩り(南部町)
10月	紅葉見学(奥入瀬溪流)
11月	バスハイク・温泉(洋野町)
12月	クリスマス忘年会(施設内)
H26年1月	新年会(施設内)
2月	特別調理会(施設内)
3月	映画鑑賞(施設内)

10) 年間利用者状況(利用者数は毎月末日現在)

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H25.4月	9	9	18	1	1	2	0	0	0
5月	9	9	18	0	0	0	0	0	0
6月	9	9	18	0	0	0	0	0	0
7月	9	9	18	0	0	0	0	0	0
8月	9	10	19	0	1	1	0	0	0
9月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
10月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
11月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
12月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
H26.1月	9	10	19	0	1	1	0	1	1
2月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
3月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
計	108	116	224	1	3	4	0	1	1

◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「自立訓練（生活訓練）事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を提供し、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供し、また地域連携を図った。

【報告項目】

- ①障害者生活訓練施設青山荘の運営
(通所生活訓練 定員 20 名 宿泊型訓練 定員 20 名)
- 1) 生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムの実施
- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施
- 3) 関係機関との情報共有及び連携
- 4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策
- 5) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
- 6) 訓練等給付費請求・受領業務
- 7) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
- 8) 年間利用者状況

【報告内容】

- ①障害者生活訓練施設 青山荘の運営
- 1) 地域生活への動機付けやコミュニケーションスキルの習得、生活の基礎作り、及び生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムを実施した。

実施月日	実施内容
通年	服薬教室（疾病教室） 健康管理（病状管理、ストレス対処技術） セルフケア（保清・身辺整理・身だしなみ・掃除など）栄養教室 安全・危機管理（防災、盗難・詐欺、消費者トラブルなど） 金銭管理 地域生活に向けての目標設定（住居プラン） 買い物 調理教室 創作活動 趣味活動 外出・外泊 余暇活動 コミュニケーションスキル向上等に関するプログラムを実施
適宜	生活全般に関する相談支援

公益事業 1：障害者の自立の支援に関する事業
(3) 障害福祉サービス

2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握し、適切なケアマネジメントを行った。

実施月日	実施内容
H25 年 4 月 新規利用者（随時）	面談・アセスメント・個別支援計画の作成・同意
適宜（6ヶ月以内）	モニタリング実施 アセスメント・個別支援計画作成検討会議実施

3) 関係機関との情報共有及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供及び医療、関係機関、家族との密接な連携を行った。

実施月日	実施内容
適宜	通院時の付き添い及び情報提供 関係機関との情報共有 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加
随時	支援会議の実施

4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策

実施月日	実施内容
H25 年 8 月・2 月	第三者委員会の開催
H26 年 2 月	避難誘導訓練（夜間想定・緊急連絡網）
H26 年 3 月	避難誘導訓練（夜間想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	H26 年 4 月、25 年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務、及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月 10 日・25 日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

月	行動計画
毎月	訓練給付サービス提供実績記録提出 国保連への請求・代理受領

7) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

8) 年間利用者状況

「宿泊型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月利用数			新規利用			終了		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H25.4月	9	5	14	0	0	0	0	0	0
5月	9	5	14	0	0	0	0	0	0
6月	10	5	15	1	0	1	0	0	0
7月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
8月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
9月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
10月	9	5	14	0	0	0	1	0	1
11月	9	5	14	0	0	0	0	0	0
12月	10	5	15	1	0	1	0	0	0
H26.1月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
2月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
3月	10	5	15	0	0	0	0	0	0
計	116	60	176	2	0	2	1	0	1
年間平均利用数			14.6						

「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月利用人数				新規利用			終了		
	登録者数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	平均利用数						
H25.4月	11	6	17	11.4	0	0	0	0	0	0
5月	12	6	18	10.8	1	0	1	0	0	0
6月	12	6	18	11.7	1	0	1	0	0	0
7月	13	6	19	12.4	0	0	0	0	0	0
8月	13	6	19	10.3	0	0	0	0	0	0
9月	13	6	19	10.9	1	0	1	1	0	1
10月	13	6	19	11.3	0	0	0	1	0	1
11月	13	6	19	11.4	0	1	1	0	0	0
12月	15	6	21	11.2	2	0	2	0	0	0
H25.1月	15	6	21	10.6	0	0	0	0	0	0
2月	15	6	21	13.1	0	0	0	0	0	0
3月	16	7	23	14.0	1	1	2	0	0	0
計	107	48	157	11.6	6	2	8	2	0	2

◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加として就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に、障害者の自立した生活を助長するため、障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する会議等を行った。

【報告項目】

- ① 障害者就労移行支援事業所開設
- ② 就労移行支援事業の運営

【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所開設

1) 開設準備

設置場所：現障害者就業・生活支援センターみさわの事務所を活用。

住 所：青森県三沢市本町1丁目62-9

実施日	実施内容
5月29日	家主と交渉 建物の借用が可能かどうかの話し合いを実施。可能とのことで、6月15日より借用となる
6月下旬	改装見積もりの依頼を行う ※建築用途変更が必要との指導を受ける ※用途変更をするために、大幅な改修が必要となることが判明
8月	建築基準に合わせた改修を行うには当法人の資金では不可能と判断する
9月4日	家主と話し合いを行い、事業開始が見込めない為、賃貸借契約を解除
9月	事業開設場所等に候補地が見つからない為、次年度に計画を持ち越しとすることとした。

- ②就労移行支援事業の運営

設置場所の再検討を要したため、事業開始にいたらなかった。

◆障害者の作品展示

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者の美術作品の発表・展示の場を提供し、障害者の教養を高め、自主活動の育成を図り、登録した地域住民及び専門職等に対し公開した。

【報告項目】

- ①障害者への作品募集
- ②障害者の作品展示
- ③作品観覧会の実施

【報告内容】

①障害者への作品募集

障害者を支援する関係機関へ、当事業周知のための広報活動を行った。

実施月	実施内容
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の案内を通じて作品の募集を行った ・若年性認知症サポートセンターゆえみの利用者への募集を行った ・ホームページで広報した

②障害者の作品展示

常設展示作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めてもらった。

月	行動計画
随時	常設展示
H25年12月13日 ～12月15日(3日間)	障害者作品「こころに平和をカレンダー」原画展 (作品提供：全国精神保健福祉協議会)

③作品観覧会の実施

法人事業等を利用して来場者に対し作品紹介・説明を行ったり、全国精神保健福祉協議会より作品提供を受け、障害者の作品観覧会を行った。

実施月	実施内容
H25年6月15日	(講演会) 高齢者支援施設関係者 71名
H25年12月13日 ～12月15日(3日間)	「こころに平和をカレンダー」原画・観覧会 (作品提供：全国精神保健福祉協議会) 来場者 17名
H25年12月12日	(作品見学・説明会) 八戸学院大学 学生8名 准教授2名
H26年3月15日	(講演会) 障害者支援施設関係者 88名

◆在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 是川幸恵

【事業報告】

地域の高齢者世帯、独居、要介護状態となるおそれのある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるよう支援する事を目的として事業を行った。また、地域の高齢者見守りネットワーク構築や生活・介護支援サポーターを育成し、高齢者福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ① 高齢者実態把握事業
- ② 介護予防プラン作成事業
- ③ 介護予防教室事業
- ④ 高齢者見守りネットワーク事業
- ⑤ ボランティア育成・活用事業
- ⑥ 生活・介護支援サポーター事業

【報告内容】

①高齢者実態把握事業

- 1) 担当地区の特定高齢者及び一般高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

月	実施内容		
H25年4月～H26年3月	担当地区において241件訪問実施		
担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	85名	47名	132名
館	36名	30名	66名
豊崎	26名	17名	43名
合計	241名		

- 2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	12回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	12回
	合計	24回

②介護予防プラン作成事業

- 1) 実態把握で訪問した高齢者を対象に、要介護状態を防ぐために予防プランを作成した。

担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	85名	47名	132名
館	36名	30名	66名
豊崎	26名	17名	43名
合計	241名		

③介護予防教室事業

1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

田面木	13回
館	2回
豊崎	14回
合計	29回

④高齢者見守りネットワーク事業

1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築する。

上田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	3回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	2回
合計	5回

⑤ボランティアの育成・活用事業

- 1) 地区民生委員やほのぼの交流協力員に対し、認知症理解等についてのボランティア育成講座を開催した。
- 2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。地域住民対象にボランティア育成の一環として認知症サポーター養成講座を実施した。

月	実施内容
H25年10月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

⑥生活・介護支援サポーター養成事業

1) 高齢者が地域で安心して生活するため、地域住民からサポーターを地域で活用するために養成事業を行った。

・養成対象地区・人数：小中野・江陽地区在住の10名養成

実施日	実施内容
H25年11月7日	コミュニケーションってどんなこと？(研修) 講師：八戸プラザホテル 方波見茂
	守らなければならないこと～守秘義務について～(研修) 講師：こころすこやか財団 山口亜矢子
11月14日	地域資源を知ろう(研修) 講師：八戸市社会福祉協議会 中里雅恵
	高齢者疑似体験(研修) 講師：八戸市社会福祉協議会 中里雅恵
11月21日	自分を知ろう(研修) 講師：八戸大学 准教授 篠崎良勝
11月26日	介護予防教室「健康体操」(演習) 講師：リハビリパーク 理学療法士 深畑忍
11月28日	「健康運動教室」(演習) 講師：健康運動指導士 小西池郁子
12月5日	認知症サポーター養成講座(演習) 講師：こころすこやか財団 松倉典子

◆若年性認知症サポートセンターゆえみ（結実）

報告担当者 鈴木厚子

【報告概要】

若年性認知症者の特性に配慮した介護及び生活援助の提供を行い、その状態に応じた適切な支援を提供した。また、平成25年度青森県若年性認知症実態把握事業を受託。若年性認知症者の実態及びニーズを把握し、若年性認知症実態調査報告書を作成した。

【報告項目】

- ① 通所支援サービスの実施
- ② 相談支援の実施
- ③ 青森県若年性認知症実態調査（青森県委託事業）の実施

【報告内容】

① 通所支援サービスの実施（毎週火・木曜日）

- ・アルツハイマー型認知症疑い、脳血管性認知症疑いの方を含め、介護保険未申請の方や障害者手帳の有無に関わらず、認知機能に問題があると思われる64歳以下で発症した方を対象に、若年性認知症者の特性に適したサービスを提供した。

月	行動報告		
	活動日数	延参加人数	活動内容
毎週火曜日	50日	192人	・草刈りや環境整備等収入の得られる業務 ・イベント出店用作品（革細工・ガラス細工・ヒバ匂袋・キーホルダー・マグネット・メモスタンド・八幡馬ストラップ等）の作製
毎週木曜日	51日	209人	・脳リハビリ（数学・書写・間違探し等）の実施 ・趣味活動（調理・運動・外出・折り紙・貼り絵・書道等）の実施

② 相談支援の実施

- ・若年性認知症者及びその家族並びにサービス提供事業所職員等を対象に、日常の困り事や対応の仕方等の相談支援を実施した。

月	行動報告	
	相談件数	相談内容
H25年4月1日～ H26年3月31日	211件	ゆえみ利用に関する事・健康や生活に関する事・家計や経済に関する事・福祉サービス利用に関する事・情報共有等

③ 青森県若年性認知症実態調査（青森県委託事業）の実施

月	行動報告
6月～8月	調査票（一次調査・二次調査）の作成
9月～11月	発送と回収（青森県担当）
11月～3月	集計・分析・結果のまとめ 報告
3月末	実態調査報告書 100部・実態調査報告書概要版 2900部を納品

◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 有谷泉

【報告概要】

検診機器の貸し出しを通じてもの忘れ検診をより普及し、認知症予備軍の方々を見つけ出し適切な予防活動と介護予防教室につなげた。また認知症の早期発見、早期受診を目的とする普及活動を行った。更にもの忘れ相談プログラムを更新した。

【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を県内市町村及び団体等へ貸出
- ② 更新ソフトの導入

【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。

1) 県内の市町村等への検診機器貸出

延貸出台数：73台

月	実施内容		
7月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
	新郷村 住民生活課	3日間	3台
	青森市 高齢介護保険課	1日間	1台
9月	青森市高齢介護保険課	2日間	2台
	野辺地町	1日間	2台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
10月	青森市高齢介護保険課	1日間	1台
	ほっとハウス	2日間	1台
	東通村いきいき健康推進課	1日間	3台
11月	青森市高齢介護保険課	2日間	1台
	青森市地域包括支援センター寿永	1日間	1台
	寿楽荘	1日間	1台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	4台
	西目屋村役場 住民課	1日間	3台
	風間浦村 村民生活課	2日間	3台
12月	大鰐町 保健福祉課	2日間	3台
	鱒ヶ沢町 健康ほけん課	1日間	3台
	青森市 高齢介護保険課	2日間	2台
1月	田舎館村 地域包括支援センター	1日間	2台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	4台
3月	大鰐町 保健福祉課	1日間	2台

- ② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
4月	タッチパネル機器とプリンタの点検 もの忘れ相談プログラム・TDASプログラムの更新ソフトの導入

◆認知症事例検討会

報告担当者 福士一

【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要かを事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

1) 市内の福祉専門職員を対象に、認知症の事例を基に各事業所での対応の仕方等を検討し、検討会を運営した。

実施日	テーマ	案内数	参加施設	参加者数
H25.12.18	認知症家族と施設職員の関係	63 施設	16 施設	26 名
H26.3.15	口腔ケアの基礎知識 (認知症、リハビリの関係)	65 施設	13 施設	26 名

◆若年性認知症サロンゆうき（結喜）

報告担当者 鈴木厚子

【報告概要】

相談支援事業の一環として、若年性認知症者とその家族の交流の機会を設けることで、若年性認知症者への適切な支援のあり方を探る事ができた。また、家族間、専門職等との交流の機会を設けることで、情報交換の場として活用し、家族の精神的な負担を和らげることができた。

【報告項目】

- ①サロンの開催（毎月1回）
- ②家族支援として個別相談を実施

【報告内容】

- ①毎月1回サロンを開催

開催日	場所	実施内容	当事者	ご家族 付添	ボラン ティア	見学者
H25.4.13	すこやか会館	たこ焼き さきおりコースター制作	5	4	1	0
H25.5.4	七戸・十和田	道の駅七戸散策等	4	3	0	0
H25.6.8	すこやか会館	せんべい汁 長谷ぼたん園散策	4	4	0	0
H25.7.13	すこやか会館	バーベキュー 七夕飾り制作	3	3	0	2
H25.8.10	すこやか会館	流しそうめん くるみボタン制作	4	5	0	0
H25.9.14	すこやか会館	豚汁、鰯の塩焼き 革細工制作	3	3	0	0
H25.10.12	南部町	ぶどう狩り	4	3	0	0
H25.11.9	すこやか会館	カレーライス 革細工制作	3	4	0	0
H25.12.14	すこやか会館	クリスマスランチ しめ飾り制作	5	6	0	1
H26.1.11	すこやか会館	お雑煮、餅つき 革細工制作	5	5	0	0
H26.2.8	すこやか会館	恵方巻き マグネット制作	6	5	0	0
H26.3.8	すこやか会館	ちらし寿司 マグネット制作	6	7	0	0

②家族支援として個別相談を実施

実施日	実施内容	対応者
H25.6.8	介護老人保健施設入退所について	福士
H25.6.8	食事用自助具の購入について	鈴木
H25.7.13	車の運転と免許証返納について	鈴木
H25.7.13	すこやかサロンへ繋がった経緯	松倉・鈴木
H25.8.10	入院中の職員の対応について	松倉
H25.8.10	退院後の行き先（施設入所等）について	松倉
H25.9.14	在宅中のショートステイ利用について	松倉
H25.10.12	有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅入居について	鈴木
H25.11.9	ケアマネジャーの変更について	松倉
H26.2.8	障害年金について（申請のコツ）	鈴木
H26.3.8	障害年金申請の書類の確認	福士
H26.3.8	障害者手帳の申請	三浦

◆介護予防

報告担当者 福士一

【報告概要】

地域の方々が要介護状態になることを予防し、地域住民一人ひとりが健康維持について高い意識を持ち、仲間作りをすることで高齢者の閉じこもりを予防することを目的とした。その中で認知症サポーター養成講座や介護に関する啓発活動を行なった。

【報告項目】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムの実施

【報告内容】

①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施。

1) 市内の在宅介護支援センター及び当法人在宅介護支援センターと協力しながら、高齢者を対象とした介護予防等に関連した講演会や健康教室を実施。要介護状態になることを防止するために、在宅高齢者向けに予防教室等を開催した。

実施日	対象者	参加者数	担当職員
H25.5.10	ほっとサロン（下田面木）	45名	福士一
H25.5.10	七崎介護予防教室	20名	鈴木厚子
H25.7.26	七崎介護予防教室	20名	福士一
H25.8.23	七崎介護予防教室	20名	鈴木厚子
H25.9.6	七崎介護予防教室	15名	鈴木厚子
H25.9.27	七崎介護予防教室	20名	鈴木厚子
H26.1.30	介護予防教室（館地区）	38名	是川幸恵
H26.3.24	健康教室（田面木地区）	46名	福士一
H26.3.29	ほっとサロン（南田面木）	37名	松倉典子

◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 福士一

【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちにすることが地域住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同で徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では捜索方法と徘徊者への声掛けの方法を学び、地域住民が支援者として活躍できることを目指した。

【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
 - 1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等と訓練内容と日時について検討した。ネットワーク拡充と今後の地域力向上を目的に田面木小学校へ活動内容の紹介と協力の依頼を行い、田面木小学校から21名の学童が参加した。

実施日	実施内容	備考
H25.7.20	田面木民生委員会議にて事前会議日の調整	-
H25.7.23	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H25.7.15	企画書提出	-
H25.8.27	田面木まごころネットワーク事前会議	参加者 29名
H25.9.10	徘徊者ボランティアの募集（福祉学校、福祉関係者）	6名
H25.9.15	町内回覧板依頼 1回目（5町内）	138部
H25.9.23	第2回打合せ（事務局のみ）	-
H25.10.10	取材依頼（8社）	当日取材 2社
H25.10.13	田面木まごころネットワーク認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 62名

- 2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H25.10.10	田面木小学校 5・6年生対象に認知症サポーター養成講座実施
H25.10.13	田面木地区住民対象に認知症サポーター養成講座実施

②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を実施した。

実施日	実施項目	実施内容
H25.6.15	展示紹介	法人主催の講演会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H25.7.27	展示紹介	法人主催のすこやか祭りにて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H25.9.8	展示紹介	市主催の認知症フォーラムにてブースの出展依頼があり、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H25.9.14	展示紹介	医療法人青仁会のふれあい秋祭りに田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H25.9.28	展示紹介	田面木公民館祭りにて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H.2510.20	展示紹介	アルツハイマー記念講演会（青森市）にて田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H.2510.26	展示紹介	地域の福祉施設の文化祭にて活動紹介のポスターを展示。
H25.11.13	展示紹介	八戸市役所に認知症フォーラムの活動紹介の一つとして、ポスターを展示。
H25.11.20	展示紹介	青森市で行われた若年性認知症の研修会で活動ポスターとムービーを上映。
H25.11.24	活動紹介	おいらせ町の「徘徊・見守り」研修会で、田面木まごころネットワークの活動紹介を行った。
H25.12.15	資料提供	特別養護老人ホームサンアップルホーム（弘前市）へ資料提供を行なった。
H25.12.23	展示紹介	法人主催のもちつき大会で、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.2.24	展示紹介	青森市のケアマネ研修会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示
H26.3.15	展示紹介	法人主催の講演会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。

◆サービス付高齢者向け住宅 悠湯の里

報告担当者 福士一

【報告概要】

医療法人青仁会からの請負により、高齢者が地域で安心して生活ができるようサービス付高齢者向け住宅において、介護保険制度のサービス利用だけでは不足する見守りや生活相談などの支援サービスを実施した。また、身体機能の低下に対応する住まいの安全確保及び孤立防止を行い、高齢となっても生活の質を低下させない地域支援を目指した。

【報告項目】

- ①相談支援
- ②安全確保と24時間見守りサービスの提供
- ③有料サービスの提供
- ④悠湯クラブの実施

【報告内容】

①相談支援

1) 入居相談

入居希望者に対し、居住スペース等の見学を実施。入居希望者については入居者のADL・IADLを評価し、介護保険、見守りサービス、有料サービスの提供により、生活可能であることを確認のうえ、安全性の確保された住居を提供した。(※1：2名/室のうち1名)

月	相談件数	入居者数	退居者数	累計	賃貸数
H25年4月	0件	2名	1名	27名	25室
H25年5月	1件	0名	0名	27名	25室
H25年6月	2件	1名	1名	27名	25室
H25年7月	0件	1名	2名	26名	24室
H25年8月	2件	0名	0名	26名	24室
H25年9月	4件	2名	0名	28名	26室
H25年10月	3件	2名	1名	29名	27室
H25年11月	0件	1名	0名	30名	28室
H25年12月	1件	0名	1名※1	29名	28室
H26年1月	0件	0名	1名	28名	27室
H26年2月	2件	0名	2名	26名	25室
H26年3月	2件	2名	0名	28名	27室

2) 生活相談

入居者が生活する上での困りごとに対する相談を実施。必要に応じて各関係機関と連携し、社会資源の活用を図った。

②安全確保と24時間見守りサービスの提供

日中帯に1名以上、夜間帯に1名見守りスタッフを配置することで、緊急時等に対応できる体制を確保し、また入居者と何気ない会話を持つことで、入居者の孤独感の解消に努めた。また館内の環境維持の為の設備の点検等を行った。

公益事業2：高齢者の生活・相談支援事業
 (4) サービス付き高齢者向け住宅の管理・サービス提供

実施日	実施内容
随時	入居者の見守り
4月・10月	設備、建具点検（内容によって、自己負担）
7月	エアコン清掃の案内と実施（有料サービス）
10月	ストーブ清掃の案内と実施（有料サービス）
適宜	緊急時対応（24時間）
適時（3ヶ月毎）	緊急時対応見直し、消防設備自主点検
H25.5.29	第1回避難訓練（入居者及びスタッフ）
H25.3.28	第2回避難訓練（入居者及びスタッフ）

③有料サービスの提供

介護保険サービスを利用していない入居者または、介護保険サービスでは補えないサービスについて、入居者またはその家族等の合意のもと、有料でサービスを提供した。

実施月	利用者数
H25年4月	20名
H25年5月	21名
H25年6月	21名
H25年7月	22名
H25年8月	18名
H25年9月	20名
H25年10月	21名
H25年11月	22名
H25年12月	22名
H26年1月	19名
H26年2月	21名
H26年3月	19名

④悠湯クラブの実施

入居者同士の交流の場、日中活動の場の提供を目的とし、入居者同士が交流できるように悠湯クラブを行った。

実施日	実施内容	参加者数
H25.4.14	映画鑑賞会「男はつらいよ」	9名
H25.4.28	映画鑑賞会「座頭市」	10名
H25.5.5	映画鑑賞会「東京物語」	8名
H25.5.6	映画鑑賞会「釣りばか日誌」	13名
H25.5.12	料理教室「カレーライス」	12名
H25.5.19	映画鑑賞会「男はつらいよ」	11名
H25.5.26	料理教室「煮物」	20名
H25.6.2	もの作り「小物入れ」	5名
H25.6.9	映画鑑賞会「母べえ」	8名
H25.6.16	料理「けんちゃんうどん」	17名
H25.6.23	映画鑑賞会「愛の讃歌」	14名
H25.7.7	演芸会「八戸南部芸能様慰問」	18名
H25.7.14	映画鑑賞会「ああひめゆりの塔」	8名

公益事業2：高齢者の生活・相談支援事業
 (4) サービス付き高齢者向け住宅の管理・サービス提供

H25.7.21	料理「肉じゃが」	15名
H25.7.28	映画鑑賞会「男はつらいよ」	6名
H25.8.4	映画鑑賞会「お早よう」	8名
H25.8.11	料理「煮しめ」	23名
H25.8.25	映画鑑賞会「男はつらいよ」	9名
H25.9.1	映画鑑賞会「二十四の瞳」	13名
H25.9.8	もの作り「くす入れ」	5名
H25.9.15	敬老会「東一番町の婦人部様慰問」	22名
H25.9.22	料理「白玉団子」	10名
H25.9.29	映画鑑賞会「釣りばか日誌」	11名
H25.10.6	もの作り「小物入れ」	7名
H25.10.13	映画鑑賞会「男はつらいよ」	8名
H25.10.20	映画鑑賞会「土俵祭」	6名
H25.10.27	料理「カレーライス」	17名
H25.11.3	映画鑑賞会「一発勝負」	10名
H25.11.10	トランプ	6名
H25.11.17	演芸会「東一番町の婦人部様慰問」	21名
H25.11.23	映画鑑賞会「古都」	10名
H25.11.24	料理「せんべい汁・ひつつみ汁」	21名
H25.12.1	映画鑑賞会「へそくり社長」	7名
H25.12.8	料理「おでん」	19名
H25.12.15	映画鑑賞会「男はつらいよ」	7名
H25.12.22	料理「クリスマスケーキ作り」	11名
H25.12.27	餅つき会	24名
H25.12.29	映画鑑賞会「黒部の太陽」	8名
H26.1.1	書初め	5名
H26.1.5	映画鑑賞会「男はつらいよ」	10名
H26.1.12	映画鑑賞会「釣りばか日誌」	6名
H26.1.26	映画鑑賞会「永遠の人」	15名
H26.3.2	映画鑑賞会「砂の器」	14名
H26.3.23	料理「せんべい汁」	20名
H26.3.30	映画鑑賞会「火垂るの墓」	9名

公益事業3：障害者・高齢者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催

◆障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、障害者・高齢者の地域支援に関連した講演会等を実施した。

【報告項目】

- ① 講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施
- ③ 「成年後見制度」に基づく権利擁護について、研修会の実施

【報告内容】

- ① 講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施。
 - 1) 高齢者・障害者の地域生活支援に関する専門分野の講師に依頼し、地域支援の展開、具体的な実施方法等について講演会を開催した。

実施月日	実施内容	参加者
6月15日	講演会 第1部「認知症フレンドシップクラブの活動を通じて見えてきたまちづくりの未来」 第2部「オランダから学ぶ「地域で暮らす」の意味」 講師：認知症フレンドシップクラブ 理事 徳田雄人 様	71名
3月16日	講演会 「地域で支えるアルコール依存症」 ～ アルコール健康障害対策基本法の制定を受けて ～ 講師：公益財団法人慈圭会 慈圭病院 院長 堀井茂男 様	89名

- 2) 高齢者、障害者本人、家族、地域住民、公的機関の職員との連携、協働による地域福祉の地域づくりを行った。

実施月日	実施内容	従事職員
9月8日	八戸市認知症フォーラム	4名
9月28・29日	田面木公民館祭り	3名

※上記以外については公益事業1及び公益事業2の各事業報告を参照

公益事業3：障害者・高齢者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催

②高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施。

実施日	講演内容	対象者	参加者数	担当職員
6月4日	若年性認知症者の使える制度	五戸ケアマネ協議会	30	松倉
6月5日	介護教室 (認知症サポーター養成講座を含む)	八戸工業大学 第二高校2年生	41	松倉 福士
6月25日	認知症サポーター養成講座	ゆうちょ銀行 行員	12	福士
8月8日	田面木地区における、認知症SOS徘徊模擬訓練について	おいらせ町住民	40	松倉 福士
10月10日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校 4年生	40	松倉 福士
10月12日	障害者就労支援シンポジウム ～障害者就労の今を考える～	三沢市民	280	松倉
10月13日	田面木まごころネットワーク (認知症サポーター養成講座含む)	田面木地域住民	62	松倉 福士
12月5日	小中野生活支援サポーター	生活支援員	13	松倉 福士
2月24日	若年性認知症実務者研修 若年性認知症者の実態調査報告	県内の若年性認知症実務者研修参加者	70	松倉
3月10日	認知症サポーター養成講座	三条小学校 5・6年生	74	松倉 福士

※上記以外については、

公益事業1-(1)「地域生活支援センター青明舎」

公益事業2-(1)「在宅介護支援センターたえみ」

(3)「認知症事例検討会」「介護予防」の事業報告書を参照

③「成年後見制度」に基づく権利擁護についての研修会の実施。

今年度の「成年後見制度」に基づく権利擁護についての研修会は実施されなかった。

◆成年後見制度に基づく権利擁護活動

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、平成23年度に養成された市民後見人の相談等に
 応じた。今年度は養成講座を受講された内の1名が市民後見人として活動しているとの報告を
 受けた。また法人スタッフの権利擁護活動を支援した。

【報告項目】

- ①H23 年度に育成された市民後見人の要望に応じて相談を受ける
- ②法人スタッフの権利擁護活動を支援

【報告内容】

- ①H23 年度に育成された市民後見人の要望に応じて相談を受ける。
 H23 年度に育成された市民後見人からの相談については 0 件であった。
- ②法人スタッフの権利擁護活動を支援
 「ばーとなー青森」に所属する法人スタッフ2名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当職員
認知症 女性 80 歳代	後見事務	H22.10.21	三浦とし子
知的障害者 男性 50 歳代	保佐事務	H22.12.16	三浦とし子
認知症 男性 80 歳代	後見事務 (H26.3/2 死亡)	H25.4.30	三浦とし子
脳梗塞後状態 女性 70 歳代	後見事務	H25.8	三浦とし子
知的障害 女性 40 歳代	後見事務 (H26.3/31 辞任)	H25.8.30	三浦とし子
知的障害者 女性 50 歳代	後見事務	H24.12.14	松倉典子

◆精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患、認知症に関する偏見除去及び発症の予防知識の普及を行い、高齢者と障害者の社会参加を啓発広報する事業を行った。

【報告項目】

- ①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施
- ②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施
- ③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報の実施
- ④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等

【報告内容】

①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施

偏見除去に関する当事者ニーズの把握とそれに基づく活動計画により地域住民や関係機関への啓発教育及び障害者ボランティア講座を開催し偏見除去の啓発広報を行った。

- 1) 障害者サポーター養成
 地域生活支援センター青明舎において、サポーター養成を実施
 (※公益事業1(1)地域生活支援センター青明舎 参照)
- 2) 生活・介護支援サポーター養成
 八戸市高齢者生活支援サポーター養成講座を実施
 (※公益事業2(1)在宅介護支援センターたえみ 参照)
- 3) 障害者・高齢者に関する講演会の開催
 (※公益事業3(1)障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催 参照)
- 4) 法人主催によるイベントの開催

実施月	実施内容	参加者数
7月27日	すこやか祭り ・地域住民によるステージ発表 ・飲食・ゲーム等の屋台 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及 (活動内容の展示個別相談、作品展示、販売など)	269名
12月23日	もちつき大会 ・地域住民の協力によるもちつき、販売 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及 (活動内容の展示、作品展示、販売など)	91名

②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施

専門医療機関への早期受診・早期診断についての結果を取りまとめを行う予定であったが、できなかった。

③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報

精神疾患においての刊行等は実施されなかった。認知症については、認知症の人と家族の会と協力し「こなゆき」の刊行に携わった。25年度は研究発表については行われなかった。

公益事業3：障害者・高齢者が安心して暮らせる地域づくり事業
(3) 精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等

精神障害者に関する事例集の作成には至らなかった。

認知症に関しては、青森県若年性認知症実態調査報告書を作成した。

(※公益事業2-(2)若年性認知症サポートセンターゆえみ 参照)

◆コインランドリー・自動販売機等の設置

報告担当者 事務 有谷泉

【報告概要】

公益目的事業以外の事業を行うことで収入を得て、公益目的事業へみなし寄附をすることで、公益目的事業の資金とした。

【報告内容】

- ① コインランドリー収入
- ② 自動販売機収入
- ③ 公衆電話収入
- ④ 屋外広告用看板スペース貸出し収入

【計画内容】

① コインランドリー設置収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」敷地内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集金 ・ 洗濯機・乾燥機の清掃 ・ 機器の定期点検

② 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」敷地内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売機周辺の清掃 ・ 入金確認
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎	

③ 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集金 ・ 入金 ・ 電話機のメンテナンス
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	
八戸市大字田面木字赤坂 グループホーム「あおめ」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 ケアホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

④ 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借主との打合せ等 ・ 入金確認